



遠州森町花めぐりウォーク

2018.0610 12km ゆったり8km

コースの概要

遠州森町にある小国神社を中心に点在している神社仏閣を訪ねて歩く花めぐりのウォークです。極楽寺の駐車場で体操をしてスタートです。極楽寺は「あじさい寺」として有名な曹洞宗のお寺です。ここでは入園して境内にある30種類以上13,000株の紫陽花を楽しんで頂きます。その後は歩きやすく比較的平坦なコースで香勝寺に向かいます。日本三大「ききょう寺」として有名なお寺さんで、門前では可愛い手合せ地蔵が出迎えてくれます。このお地蔵様の頭をなでると幸せになれるとか？皆さんも試してみませんか。ききょう庭園への入場は有料で、今回のウォークでは入場しません。その後は、はぎ寺としてご存知の蓮華寺に向かいます。住宅地で目印のない道歩くのであまり列が長くないよう歩きましょう。萩の種類が15種類、3,000株ほどあり4月中旬より10月初旬まで、色々な萩の花が咲き乱れるそうです。また境内右手の奥には「幸せの鐘」があり、願いを込めながら鐘を搗くとこれまた成就するそうです。バス移動で昼食場所の小国神社まで向かいます。個人での入場となりますが「花菖蒲園」は例年、5月20日前後から開園されます。昼食後は大社造りの本殿や拝殿のある境内を散策してください。午後は「森の石松の墓」で有名な大洞院まで歩きます。このコースは最初の20分ほど急坂で食事をした後にはきつい登り坂になります。バス移動でゴールまでのゆったりコースもご利用ください。お約束のお土産タイムは「小国ことまち横丁」と新東名の「NEOPASA 静岡」をご利用ください。

大洞院

曹洞宗の寺院。山号は橘谷山(きつこくさん)。本尊は麻蔭(あさまき)地蔵菩薩。応永年間(1394-1427年)怨仲(じょちゅう)禅師の開山により創建されたと伝えられる。駐車場から大洞院へ向かう途中に「森の石松の墓」がある。このお墓の石を持っていると勝負運が付くと言われており、削る人が跡を立たないため嚴重に檻で囲われている。

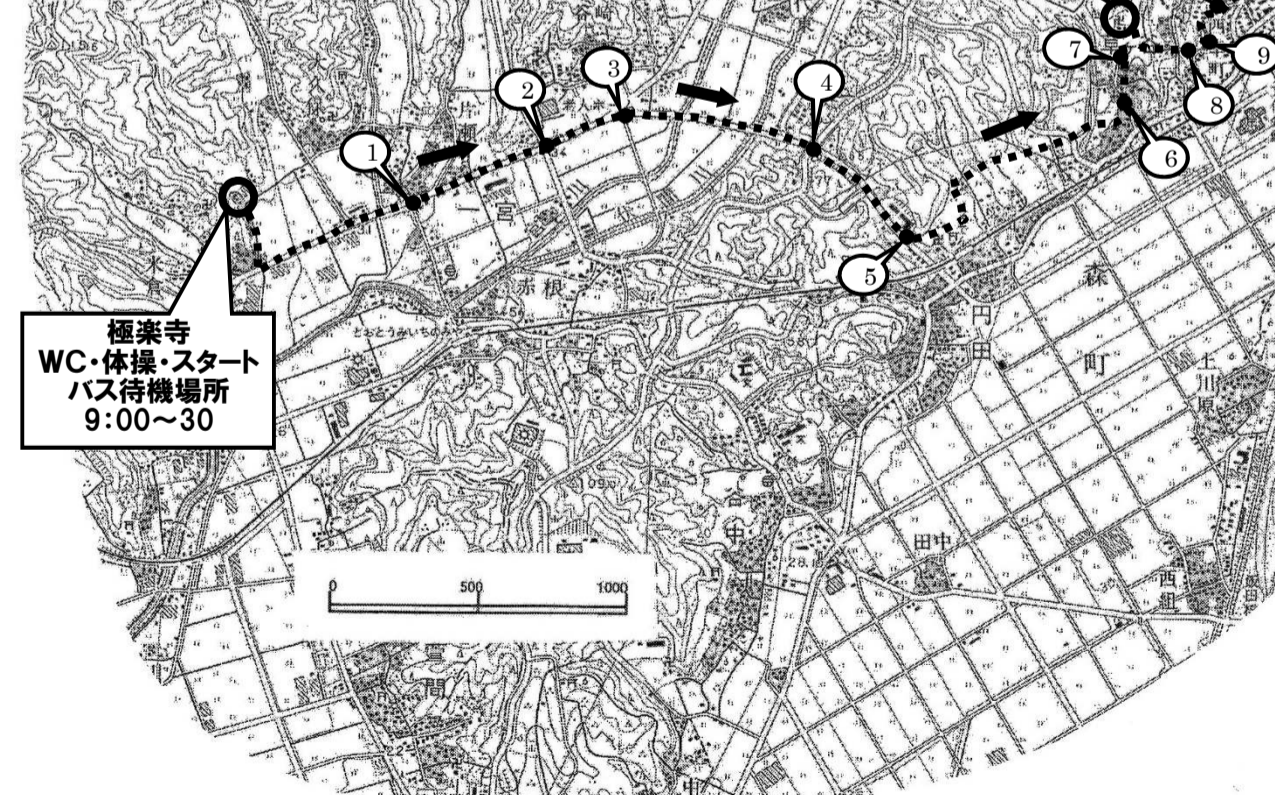
次回申込(昼食場所)

郡上八幡と飛騨の里一泊ウォーク

- ☆期日 6月24日(日)、25日(月)
 - ☆集合 富士宮駅南口 6:00
 - ☆参加費 24,000円
 - ☆切 6月19日(火)
- 定員(48名)になり次第

富士山お山開きウォーク

- ☆期日 7月10日(火)
- ☆集合 富士宮駅南口 8:50
- ☆参加費 3,000円(弁当・お茶付き)
- ☆切 7月3日(火)



参加者の皆様へ

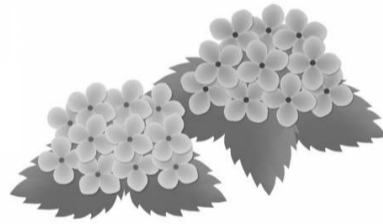
- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

緊急時連絡

市川 文雄 090-3835-5203
井上とし子 090-2136-7308

極楽寺(あじさい寺)

極楽寺は、養老年間(712年頃)行基菩薩によって開創された古い寺で、ご本尊阿弥陀如来は行基菩薩みずから刻まれたと伝えられている。寺は平安時代には天台の教義を修められた高僧恵心僧都がここに巡錫、一時は大いに隆昌したがその後寺運は衰微してしまった。しかし、寛永6年(1629)可睡齋二十一世貴外嶺育和尚は極楽寺の衰退を惜しみ、堂宇を再建、曹洞宗に改宗して禅風を賑わうに至り寺運は飛躍的に興隆した。爾来二侯城主近江守晶長公の庇護を受けて一層寺運は興隆した。正しくは、実谷山極楽寺というが、「あじさい寺」というほうが、とおりがいいかもしれない。6月上旬から7月上旬にかけてが、あじさいの見ごろで、この時期、「あじさいまつり」が催される。普段は、無料で境内に入って、見学・お参りができるが、この時期のみ、見学に料金が必要になる。



香勝寺(ききょう寺)

日本三大「ききょう寺」として有名なこの寺は、天文14年、崇信寺(森町飯田)8世全忠和尚が開山したと伝えられている。また、戦国の武将「武藤形部」の菩薩寺でもある。ご本尊は白龍頭観世音菩薩。境内にある観音様のお告げから植えられたという「ききょう」は約4万株で、見頃は6月中旬から7月中旬そして8月中下旬より9月の中下旬の年2回。

蓮華寺(はぎ寺)

天台宗の寺院で山号は八形山。本尊は阿弥陀如来。慶雲年間(704年 - 708年)行基の開山により創建されたと伝えられ、天長年間(824 - 834)に天台宗の寺となったとされる。往法然上人が、蓮華寺に立ち寄られた時、辺り一面に萩の花が咲き乱れている光景をご覧になってこれは正に萩の寺だと言われたのが始まりで今日の名所となったと言うことである。早咲きの萩は春4月より咲き始め、夏萩は初夏6月より7月にかけて、秋萩は9月から10月にかけて咲く。

小国神社

祭神は、大己貴命(おおなむちのみこと)=(大国主命(おおくにぬしのみこと)、通称は大国さま)。小国神社は、はじめ本宮山に祀られていた。6世紀後半の欽明(きんめい)天皇の御代16年2月18日に本宮山に御神霊(ごしんれい)が出現して、のちに現在の地に神社が移された。大社造りの本殿や拝殿のある境内は、今も「古代の森」の名にふさわしく樹齢数百年の老杉が荘厳な雰囲気を出している。森町のみならず遠州一円の人々の信仰を集め、正月には30万人あまりの人々の初詣で賑わう。神社入口には、花菖蒲(しょうぶ)園があり、桜、紅葉など四季の花も楽しめる。毎年4月の例大祭に奉納される十二段舞楽は、国の重要無形民俗文化財に指定され、1月3日の田遊び祭の舞楽は、県の文化財に指定されている。

コース

往路(バス)	富士宮駅 = 新富士IC = 遠州森町PA・スマートIC(WC) = 極楽寺
	7:00 8:10~25 9:00
ウォーク	極楽寺(WC・体操・拝観)・・・香勝寺(WC)・・・蓮華寺・・・森町役場 = バス =
	9:00~30 10:05~20 11:10~30 11:40~50
	小国神社(昼食・WC)・・・大洞院(ゴール・WC)
	12:10~13:10 14:20~40
復路(バス)	大洞院 = 森掛川IC = NEOPASA静岡(WC) = 新富士IC = 富士宮駅
	14:40 15:30~15:50 16:30